ホーさんを偲んで

ラナウのゴルフ場でプレイをしたことがある人ならホーさんを知らない人はいないだろう．彼はそれほどの有名人であり，人気者である．ホーさんは職人気質のキャディである．当ゴルフ場ではプレイヤー一人にキャディが一人付く．バッグが重い場合，トローリーを要求するキャディもいる．トローリーの使用料は，1 日 5 リンギット（約 150 円）である．ホーさんはどんな場合でもトローリーを使用しない．必ず担いで歩く．ホーさんは 68 歳だった．プレイヤーがボールをがけ下に落とすと担いだまま，ボールを探しに行く．トローリーを使用しないことは，キャディとしてのホーさんの美学である．5 リンギットでもお客さんに負担をかけないようにする．ホーさんは上半身が発達し過ぎており，太鼓腹だったので，数年前から膝を痛めていた．18ホール回るのが辛くなり，9ホールしか回らないときでも，担いだ．

奥さんのパヤも同じゴルフ場でキャディをしている．パヤはとても若くておしゃれである．バザールで仕入れてきた衣服を上手に着こなしている．ホーさんが，泥が染み込んで染まってしまったようなタオルでボールを拭いてくれるのに対し，パヤは，アクリル毛糸の手編みの綺麗なもので拭いてくれる．そのパヤも，とにかく担ぐ．ホーさんに仕込まれたせいか，決して手抜きをしない．ホーさん同様，芝目も正確に読んでくれる．あの太ったホーさんが，あんなに魅力的でスマートなパヤをどのようにして射止めたのか謎であるが，ホーさんのキャディ魂はパヤに完全に引き継がれている．

昨年の暮れ，ホーさんは倒れた．三日間くらいパヤは寝ずに看病したそうだ．その甲斐あってホーさんは回復した．しかし，2 月に訪れたときにはホーさんは9ホールしかキャディをしなかった．それでもコンペティションのときには頼まれれば 18 ホールを引き受けていた．3 月上旬に帰国したので，3 月 25 日にホーさんが他界されたことを知らなかった．今日（6 月 11 日）僕はそのことを知った．

ホーさんがいないラナウゴルフ場は実に寂しい．キャディだけでなくお客さんもホーさんからたくさんのことを教わったに違いない．あの文法など無関係な彼独特の英語で・・・

ホーさんの柔和な笑顔を思い出しながら，心からご冥福をお祈りする．合掌．